令和７年４月21日

市政記者クラブ　様

スポーツ市民局市民生活部地域安全推進課
担当：藤井、榎本　電話：972-3121

犯罪に強いまちをめざして！
名古屋市犯罪抑止対策2025を策定しました

刑法犯認知件数は全国的に増加傾向にあり、本市においても令和４年度以降増加が続いています。ついては、本年度も引き続き犯罪抑止対策に取り組み、犯罪に強いまちを目指して**「名古屋市犯罪抑止対策2025」**を策定しました。

本年度は**最も認知件数の多い自転車盗の対策**に力を入れて取り組んでまいります。

１ 現状（別添資料）

令和６年は、刑法犯認知件数、犯罪率とも前年に比べ３年連続で増加し、犯罪率は政令市で４年連続してワースト２位となりました。

２ 推進目標及び重点犯罪

（１）推進目標

「増加傾向にある刑法犯認知件数を再び減少させ、犯罪率において政令指定都市ワースト３位からの脱却を目指す」

（２）重点犯罪※（　）内は令和６年刑法犯認知件数

・住宅対象侵入盗（336件）
・自動車盗　（369件）
・自転車盗（5,739件）
・特殊詐欺（607件）
・子ども及び女性を対象とした犯罪※公表数値なし

３ 対策（「犯罪抑止対策2024」からの主な変更点）

（１）共通対策

地域団体への防犯カメラ設置、防犯灯LED化、それらの電気料助成について、制度拡充するとともに、地域の負担軽減のために申請手続きを簡略化

（２）自転車盗対策

新たに、マンションや小中学校・高校・大学等で、重点的に啓発を実施

※自転車盗は、令和６年の刑法犯認知件数の４分の１以上を占め、無施錠が約６割を占める

（３）その他（トレンド）の犯罪対策

「子どものSNS」「闇バイト」「SNS型投資・ロマンス詐欺」に対する取り組みを追加

４ 各区重点対策

各区の犯罪実態に即して重点的な対策を実施